

市議会報

大野

No. 28

52. 2. 1
発行 大野市議会
TEL 6-1111
(内線 303)
印刷 松浦印刷所

12月定例会市議会

一般会計 補正予算 1億6,301万円を追加

— 10議案を可決・1議案を継続審査 —

第162回12月定例会市議会は、12月13日招集され、会期を20日までの8日間と定め、理事者から提出の議案10件、継続審査1件を慎重審議いたしました。その結果、議案第66号昭和50年度大野市歳入・歳出決算認定については、決算審査特別委員会を設置、委員を別掲のとおり選任し、この委員会に付託して継続審査とし、議案第18号大野市食肉処理場を廃止する条例については賛成多数で可決、他の9議案については原案どおり全会一致で可決・承認いたしました。また、市民の皆さんから出されました請願・陳情は別掲のとおり決め、最終日には議員提案による「大野気象通報所の廃止決定の撤回と測候所格上げに関する意見書」を満場一致で可決しました。なお、市政に対する一般質問が行われました。

河川敷利用の運動場整備

53年、54年の2カ年の内に

老人センター建設

53年度に着工予定



地下水位危険信号!! 節水にご協力を (春日公園地下水観測井)

～ おもな議案 ～

▼昭和51年度大野市一般会計補正予算

今回の補正では1億6,301万円を追加して、44億6,963万円となりました。

補正の主なものは次のとおり。

〔歳出〕

人件費 6,109万円 (職員の給与を国家公務員に準じ、昭和51年4月1日にさかのぼって引き上げを行うもの) 議場録音設備取付工事 450万円。交通安全対策費89万円 (都市計画街路中挟・中野・大橋線

と駅東線の交差点に照明灯4基設置) 和光園増築補助 108万円。大野荘改築、新築補助 578万円。老人医療費 2,289万円を追加。私立保育所委託料 402万円の追加。平沢地区水道補助58万円。上庄農協カントリーエレベーター建設補助 3,289万円を追加。種子生産供給安定施設設置補助 660万円。飼料作物作付推進家畜導入事業補助 127万円。県単・市単土地改良事業費 254万円。阪谷地区第二次構

造改善事業計画策定費89万円。福井県信用保証協会出損金 140万円。六呂師駐車場新設補助 130万円。道路補修工事費 300万円。米飯給食備品79万円。災害復旧費 1,214万円など。

〔歳入〕

地方交付税 1億400万円。使用料及び手数料 106万円。国庫支出金 2,290万円。県支出金 3,448万円。市債 280万円など。

▼昭和51年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算

今回の補正では 387万円を追加し、2 993万円となりました。

補正の主なものとは人件費のほか、緊急施行を必要とする西富田簡易水道水源復旧工事費 360万円を計上いたしました。

▼昭和51年度大野市北部土地区画整理事業特別会計補正予算

今回の補正では88万円を追加し、2 億 6,703万円となりました。

補正の主なものとは人件費のほか懸案の陽明中学校前通りの中荒井第1号踏切り改良工事について、金沢鉄道管理局と協議が成立しましたので、その予納金 250万円を工事請負費より振り替えて計上しました。



陽明中学校前通り中荒井第1号踏切り改良力所

12月定例会審議日程

- 13日 本会議 (会期の決定、議案一括上程、提案理由の説明)
- 14日 休会
- 15日 本会議 (一般質問、決算審査特別委員会の設置、各案件委員会付託)
- 16日 委員会 (産業経済・建設常任委員会)
- 17日 委員会 (教育民生・総務常任委員会)
- 18日 委員会 (真名川ダム・水資源対策特別委員会)
- 19日 休会
- 20日 委員会 (教育民生常任委員会 決算審査特別委員会)
- 本会議 (各委員長報告、質疑討論、採決)



一般質問

十二月十五日、議案に対する質疑ならびに一般質問が行われ、五名の方々が理事者に質問し、そのほかにも多数の方々が関連質問を行いました。その主なものは、老人福祉センターの問題、保育所の問題、昭和五十二年度の予算編成、老朽校舎の改築の問題、し尿くみ取りの問題に関するものなどでした。なお、これらの答弁には市長のほか関係課長が当たりました。

昭和52年度の予算編成における財政見通しはどうか

問 低成長化といわれる経済情勢のなかで、昭和52年度の予算編成方針とその財政見通しはどうか。

答 地方財政の財源不足は1兆 9,200億円といわれており、財政的に大変厳しい年度である。当市における昭和52年度の建設事業の柱としては、第1はごみ焼却場建設の2年度であり、これを完成させることである。第2は東小学校の建設、第3し尿処理場の前処理施設の完備である。これら建設事業の根幹としての都市計画事業等の継続事業および新規路線の促進などにまい進したい。

義務的な経費としては、公債費の増加あるいは農地の基盤整備の補助等も増加してくると同時に経常費として人件費、福祉関係費、物件費等の上昇がある。

従って、一般財源は本年度以上に苦しくなることが予想されるので、事業を精選しこれを計画的に推進することによってこの難局を切り抜きたい。

老人センターの建設 53年度に着工予定

問 老人福祉センター建設の時期および場所、規模、内容設備等について伺いたい。

答 福祉法人組織を作って建設せよという意見に従って社会福祉協議会と協議している。約 1,000㎡、1億 4,000万円程

度の規模のものを建設したい。52年度中に補助金を獲得し、53年度に着工したい。身体障害者のリハビリテーションはもちろん併設する予定をしている。

問 県が当市に来年度建設する計画があると聞かすが、2つ老人センターを建設する考えか。

答 2つ建設する考えはない。果たして市が進めている計画と適合するかどうか今後の問題として十分県と事務的に煮詰めていきたい。

公立保育所の建設時期はどうか

問 昭和52年度の予算編成に当たり、保育を希望するすべての子供を入所させるために、公立保育所を早急に建設すべきと考えるが、どうか。また、場所も決まっているのか。

答 昭和52年度においては開成、誓念寺両私立保育所が増設を計画している。従って公立保育所の建設はもう少し先に延ばしたい。

問 どのぐらいの定員増となるのか。

答 誓念寺保育所は70名定員を 120名に開成保育所は90名定員を 120名に、合計80名の増員計画である。

問 希望者で入所出来ない子供が多く、かつ保育料の大幅な値上げについて市民に納得のいく説明を願いたい。

答 基本的には要措置の基準に該当する子供を措置するというのが国の考え方で

ある。この見解が正しいとするわけではないが、現在の基準はここにあることを理解してほしい。

保育料の値上げについては保護者も交えた審議会において慎重に検討されたものである。本年度の一般財源の持ち出しは1,300万円程度になっている。

農道の舗装計画
53年度から着工予定

問 圃場整備の終わったところに、幅員4mのもの420kmと幅員5m以上のもの40kmの計460kmの農道があるが、いつでも舗装に着手する考えか。また、舗装の際に地元負担を課するのかどうか。課するとすればその率は何%ぐらいか。

答 幅員5m以上の幹線農道で将来市道に編入する予定のものから舗装していきたい。昭和53年度から着工し、市道並みに8%の地元負担を願いたい。

河川敷利用の運動場
昭和53、54の両年の内に整備

問 近年体育振興が叫ばれ体力づくりが盛んになってきているが、河川敷を利用してのグラウンド造りについてどのように考えているか。

答 真名川ダムが完成し河川敷の安全が確認された時点で早急に造っていきたい。広大な面積であるから逐次計画的に整備していきたい。

問 整備する予定年度は？

答 昭和53、54年の2ヶ年のうちには是非整備したい。

決算審査特別委員会

昭和50年度大野市歳入・歳出決算認定について、慎重に審議するため特別委員会を設置する。委員は次のとおり。

◎委員長 ○副委員長

◎西川 文人 ○米村 武
兼井 藤波 安田 武雄
宮本 弘 林 達也

し尿くみ取りの苦情が多いが……

問 し尿くみ取りを依頼してもなかなか取りにこないという苦情が多いが、地域割などの行政指導に問題があるのではないか。

答 毎年12月に殺到するので施設の処理能力を超えることになる。土曜日、日曜日にも休みなしに運転しても処理し切れない実状である。従って、11月までにくみ取り終わるか、あるいは翌年の1月まで延ばしてもらいたい。今後は貯溜槽を造って一時貯溜するような方法を検討したい。

国道157号線（大野～墨俣線）の整備計画はどうか

問 国道157号線（大野～墨俣線）は中部圏南北の文化経済交流の動脈路であり、真名川ダム完成とともに豊かな森林資源と観光、レクリエーションの需要に応ずる重要な路線であるが、これらの改良工事の着工、進行状況等について伺いたい。

問 一部は県の単独事業で本年度行われたが、明年はぜひとも公共事業として国

の補助を得て本格的な改修事業に着工していこうという県ならびに期成同盟会の考え方であり、最善の努力をしたい。

問 国道157号線と158号線の交差する東中地係において、大野市の道路計画は行き詰まっており、外来者は右往左往するケースが多いが、この整備計画を明確にせよ。

答 標識等については十分整備したい。道路計画は南部第2区画整理事業を促進して、そのなかで最も良い線形で整備したい。昭和53年度から一部実施の方向で目標を定め鋭意努力する。

阪谷小、乾側小の老朽校舎
東小と南小と併行して建設を

問 村部の老朽校舎の改築について、その時期および規模等について伺いたい。

答 村部において最も老朽化している乾側、阪谷両小学校の改築は、東小、南小両校の建設と併行して建設計画のなかに組み入れて建設を促進していきたい。



老朽舎の改築がまたれる（阪谷小学校）

委員会の活動

●産業経済委員会

—農協合併の促進を図り
総合的、合理的な農業行政を—
付託された議案1件、請願1件、陳情1件については、可決、採択。

審議の過程で問題となった点は、農協の合併についてである。広域米生産流通総合改善事業の推進等と併せて大野市農協、上庄農協の早期合併を促進し、総合的、合理的な農業行政を進めて行くべきであると要望した。

●建設委員会

—南部第二区画整理事業の促進を—
—52年度土木予算は積極的大型予算を—
付託された議案3件、請願5件、陳情2件については、請願1件を継続審査としたほかは可決・承認・採択。

審議の過程で問題となった点は、①本定例会の一般質問においても言及された南部第二土地区画整理事業の件である。本事業のなかには国道157号、158号両線の改良をはじめ木瓜川の改修等重要かつ大きな事業が含まれており、これらの事業施行の遅延は市の産業発展に大きく影響するので、理事者は本事業遂行のため全力を傾注し、53年度には是非着工出来るよう積極的に取り組むことを強く要

望した。②都市計画事業をはじめ各種補助事業予算の獲得の問題である。これまでの市理事者の姿勢は全く消極的で、本定例会の一般質問でも極めて積極性に欠けた答弁がなされ、全委員から強い不満の意が表明された。過般の委員長報告でも触れたとおり、専らに市長の政治手腕にかかる大きな問題である。市長自ら県と連絡を密にして中央に対し積極的に働きかけ、補助事業予算獲得のため全力を傾注するよう強く要望した。③52年度における土木事業の予算の問題である。土木行政の推進は今日の市民生活に最も直結した問題であり、本定例会に提出されている請願・陳情が示すとおり市民の切実な願いである。よって、昭和52年度の予算編成に当り積極的大型予算を当初に編成し、住民の欲求に十分こたえるよう強く要望した。なお、積極的な土木行政推進のため職員の増員を図り、万全の体制で対処するよう併せて強く要望した。

●教育民生委員会

一 大野市食肉処理場条例を
廃止する条例は可決一

付託された議案4件、前回からの継続議案1件、請願1件、陳情2件については、陳情2件を不採択とした外は可決・承認・採択。

前回から継続審査となっている議案第18号大野市食肉処理場条例を廃止する条例案については、賛成多数で原案を可決。なお、廃止に当っては食肉行政の重要性

を十分考慮して、慎重に適切な行政指導を行い、市民生活に影響を及ぼすことのないよう妥当なる措置を講ずべきことを要望した。

●総務委員会

一 4議案を原案どおり可決一

付託された議案4件、陳情1件については、可決・採択。

陳情21号大野気象通報所存続と格上げについては、その趣旨を了とし採択。

なお、本件については本議会に提出し可決の上、関係省庁に意見書を提出することとした。

大野気象通報所の廃止決定の撤回と測候所
格上げに関する意見書

わが国は世界有数の災害国といわれ、豪雪、集中豪雨、台風による風水害、その他冷害、落雷の被害、地震等の自然災害は例年国民生活に多大の被害を与えており、当大野市は特別豪雪地帯でもあり38.1豪雪、40.9風水害による未曾有の被害はいまだに市民の記憶に新しいところである。

近時、社会生活の向上に伴いより精密な自然現象の把握、より正確迅速な情報の伝達は広く国民の要求するところである。

大野気象通報所は日常生活に密着した重要な施設で、今後一層の整備拡充をはかり測候所に格上げすることは防災上急を要するところであり、市民の求めてやまない要望である。

しかるに政府は公務員削減方針にのっとり昭和52年度で廃止することを決定した。これは市民の要望とは逆行する方向で天気予報、気象資料の照会はもとより防災体制を考える時憂慮せざるを得ない。

よつて政府におかれては国民を自然災害から守り、国民のための気象事業を発展させる見地になつて下記の実現について特段の配慮をされるよう要望する。

記

- 1. 大野気象通報所の廃止決定を直ちに撤回すること。
- 2. 大野気象通報所の職員を早急に増員し、常時監視体制を確立すること。
- 3. 大野気象通報所を整備拡充し測候所に格上げすること。

以上、地方自治法第99条第2項の規定により意見書を提出する。

昭和51年12月20日

福井県大野市議会

請願・陳情

9月定例市議会で継続審査となった請願・陳情2件、12月定例市議会で新しく提出された請願・陳情11件は、各委員会で審査され、委員長から本会議に報告して、次のように決定しました。

採択したもの

- 市道の舗装について
平沢区長 森広利久
- 市道の改良及び舗装について
下麻生島区長 竹田一男外8名
- 校舎改築促進及び水源確保の調査に

ついて

- 阪谷小学校PTA会長
飯岡彦兵衛外 734名
- 下黒谷地域の用水路改修について
小山黒谷土地改良区
理事長 吉田幸兵衛外27名
- 市道下掘橋の架け替えについて
下掘区長 松田樵外42名
- 川の改修について
本町5区長 東階文雄外2区長
- 助成金の交付について
大野燃糸工業協同組合
理事長 稲葉仁太郎
- 清滝橋幅員拡張と取付道路の隅切りに
ついて

清滝区長 西川長一外41名

- 大野気象通報所存続と格上げについて
全気象労働組合
福井分会 分会長 藤田駿
- 用水路の改修について
春日2丁目区長 鳥山菊四
- 市道167号線の変更について
上丁区長 飯田久男
- 食肉処理場存続について
北陸三県食肉連盟 会長 中田雄次郎
- 大野市食肉処理場の存続について
福井県食肉事業協同組合連合会
会長 近藤駿

不採択となったもの